

『畜産業振興事業の実施のために独立行政法人農畜産業振興機構からの補助金の交付により造成した基金の管理に関する基準』に基づく報告・公表資料

1. 基金の基本的事項（平成29年度）

| | |
|---|--|
| 基金の名称 | 肥育安定基金 |
| 法人名 | 一般社団法人長崎県畜産協会 |
| 基金額（機構補助金等相当額） | 1,486百万円（1,114百万円）（平成29年5月31日現在） |
| 基金事業の概要及び目標 | 肉用牛肥育経営の粗収益が生産コストを下回った場合に差額の8割を補填金として交付するために、肥育安定基金を造成し、肉用牛肥育経営の安定を図る。 |
| 基金事業を終了する時期 | 未定（平成28年3月に肉用牛肥育経営安定特別対策事業第2業務対象年間終了後無事戻しを行い、第3業務対象年間（平成28～30年度）を開始。） |
| 給付対象となる事務又は事業の採択に当たっての申請方法、申請期限、審査基準、審査体制 | 肉用牛肥育経営安定特別対策事業実施要綱及び業務規程に基づき申請を受け、審査等を行う。 |

2. 見直し結果（平成29年度）

| 項目 | 講ずる措置 | | |
|-----------------------|--|----------|----------|
| 実施した見直しの概要 | 今後も基準に適合するよう事業を実施 | | |
| 基金事業実施時期 | 未定（平成28年3月に肉用牛肥育経営安定特別対策事業第2業務対象年間終了後無事戻しを行い、第3業務対象年間（平成28～30年度）を開始。） | | |
| 収入・支出等 （平成28年度実績） | ①期首残高 | 0百万円 | |
| | ②収入 | 基金造成額 | 1,551百万円 |
| | | うち補助金 | 1,163百万円 |
| | | うち生産者負担金 | 348百万円 |
| | | うちその他 | 40百万円 |
| | 運用益 | 0百万円 | |
| | 合計 | 1,551百万円 | |
| | ③支出 | 補填金 | 65百万円 |
| | | 生産者等への返還 | 0百万円 |
| | | 機構への返納 | 0百万円 |
| 合計 | | 65百万円 | |
| ④期末残高（①+②-③） | 1,486百万円 | | |
| 交付決定等実績 （平成28年度実績） | 補填金交付頭数：1,940頭 補填金交付額：65百万円 | | |
| 基金の保有割合 | 0.5 | | |
| 基金の保有割合の算出 | （算出に用いた方式） （直近年度末の基金残高＋生産者積立金等造成見込額＋補助金交付見込額）÷事業（第3業務対象年間）が完了するまでに必要となる補填見込額 $= (1,486\text{百万円} + 267\text{百万円} + 800\text{百万円}) \div 4,452\text{百万円}$ （算出に用いた数値） 直近年度末の基金残高：1,486百万円 生産者積立金等造成見込額：267百万円 補助金交付見込額：800百万円 事業が完了するまでに必要な補填見込額：4,452百万円 | | |
| 使用見込みの低い基金等の取扱いの検討結果 | 使用見込みの低い基金等の該当の有無 | 無 | |
| その他 | （使用見込みの低い基金等に該当する場合の検討の結果） | | |

『畜産業振興事業の実施のために独立行政法人農畜産業振興機構からの補助金の交付により造成した基金の管理に関する基準』に基づく報告・公表資料

1. 基金の基本的事項（平成28年度）

| | |
|---|--|
| 基金の名称 | 肥育安定基金 |
| 法人名 | 一般社団法人長崎県畜産協会 |
| 基金額（機構補助金等相当額） | 0百万円（0百万円）（平成28年4月1日現在） |
| 基金事業の概要及び目標 | 肉用牛肥育経営の粗収益が生産コストを下回った場合に差額の8割を補填金として交付するために、肥育安定基金を造成し、肉用牛肥育経営の安定を図る。 |
| 基金事業を終了する時期 | 未定（平成28年3月に肉用牛肥育安定特別対策事業第2業務対象年間終了後無事戻しを行い、第3業務対象年間（平成28～30年度）を開始。） |
| 給付対象となる事務又は事業の採択に当たっての申請方法、申請期限、審査基準、審査体制 | 肉用牛肥育経営安定特別対策事業実施要綱及び業務規程に基づき申請を受け、審査等を行う。 |

2. 見直し結果（平成28年度）

| 項目 | 講ずる措置 | | |
|-----------------------|--|----------|----------|
| 実施した見直しの概要 | 基準に適合するよう事業を実施 | | |
| 基金事業実施時期 | 未定（平成28年3月に肉用牛肥育安定特別対策事業第2業務対象年間終了後無事戻しを行い、第3業務対象年間（平成28～30年度）を開始。） | | |
| 収入・支出等 （平成27年度実績） | ①期首残高 | 2,807百万円 | |
| | ②収入 | 基金造成額 | 1,078百万円 |
| | | うち補助金 | 808百万円 |
| | | うち生産者負担金 | 240百万円 |
| | | うちその他 | 30百万円 |
| | 運用益 | 1百万円 | |
| | 合計 | 1,078百万円 | |
| | ③支出 | 補填金 | 23百万円 |
| | | 生産者等への返還 | 966百万円 |
| | | 機構への返納 | 2,896百万円 |
| 合計 | | 3,885百万円 | |
| ④期末残高（①+②-③） | 0百万円 | | |
| 交付決定等実績 （平成27年度実績） | 補填金交付頭数：1,862頭 補填金交付額：23百万円 | | |
| 基金の保有割合 | 0.4 | | |
| 基金の保有割合の算出 | <p>（算出に用いた方式）</p> <p>（直近年度末の基金残高+生産者積立金等造成見込額+補助金交付見込額）÷事業（第3業務対象年間）が完了するまでに必要となる補填見込額</p> <p>=（0百万円+371百万円+1,112百万円）÷3,240百万円</p> <p>（算出に用いた数値）</p> <p>直近年度末の基金残高：0百万円</p> <p>生産者積立金等造成見込額：371百万円</p> <p>補助金交付見込額：1,112百万円</p> <p>事業が完了するまでに必要な補填見込額：3,240百万円</p> | | |
| 使用見込みの低い基金等の取扱いの検討結果 | 使用見込みの低い基金等の該当の有無 | 無 | |
| その他 | （使用見込みの低い基金等に該当する場合の検討の結果） | | |

(別紙)

『畜産業振興事業の実施のために独立行政法人農畜産業振興機構からの補助金の交付により造成した基金の管理に関する基準』に基づく報告・公表資料

1. 基金の基本的事項（平成27年度）

| | |
|---|---|
| 基金の名称 | 肥育安定基金 |
| 法人名 | 一般社団法人長崎県畜産協会 |
| 基金額（機構補助金等相当額） | 2,807百万円（2,105百万円）（平成27年5月31日現在） |
| 基金事業の概要及び目標 | 肉用牛肥育経営の粗収益が生産コストを下回った場合に、差額の8割を補填金として交付するために、肥育安定基金を造成し、肉用牛肥育経営の安定を図る。 |
| 基金事業を終了する時期 | 未定（平成28年3月に肉用牛肥育経営安定特別対策事業第2業務対象年間終了後、無事戻しを行い、新たな業務対象年間を開始予定。） |
| 給付対象となる事務又は事業の採択に当たっての申請方法、申請期限、審査基準、審査体制 | 肉用牛肥育経営安定特別対策事業実施要綱及び業務方法書に基づき申請を受け、審査等を行う。 |

2. 見直し結果（平成27年度）

| 項目 | 講ずる措置 | | |
|-----------------------|---|----------|----------|
| 実施した見直しの概要 | 基準に適合するよう事業を実施 | | |
| 基金事業実施時期 | 未定（平成28年3月に肉用牛肥育経営安定特別対策事業第2業務対象年間終了後、無事戻しを行い、新たな業務対象年間を開始予定。） | | |
| 収入・支出等 （平成26年度実績） | ①期首残高 | 1,460百万円 | |
| | ②収入 | 生産者積立金 | 389百万円 |
| | | 補助金 | 1,262百万円 |
| | | 運用益 | 0百万円 |
| | | その他 | 32百万円 |
| | 合計 | 1,683百万円 | |
| | ③支出 | 補填金 | 336百万円 |
| 合計 | | 336百万円 | |
| ④期末残高（①+②-③） | 2,807百万円 | | |
| 交付決定等実績 （平成26年度実績） | 補填金交付頭数：9,581頭 補填金交付額：336百万円 | | |
| 基金の保有割合 | 算出した保有割合は0.9であった。算出に用いた方式及び数値については以下のとおりである。 | | |
| 基金の保有割合の算出 | （算出に用いた方式） （直近年度末の基金残高+生産者積立金等造成見込額+補助金交付見込額）÷事業が完了するまでに必要となる補填金額 =（2,807百万円+270百万円+868百万円）÷4,377百万円 （算出に用いた数値） 直近年度末の基金残高：2,807百万円 生産者積立金等造成見込額：270百万円 補助交付見込額：868百万円 事業が完了するまでに必要な事業費：4,377百万円 | | |
| 使用見込みの低い基金等の取扱いの検討結果 | 使用見込みの低い基金等の該当の有無 | 無 | |
| | （使用見込みの低い基金等に該当する場合の検討の結果） | | |

『畜産業振興事業の実施のために独立行政法人農畜産業振興機構からの補助金の交付により造成した基金の管理に関する基準』に基づく基金の基本的事項の公表

(平成26年度)

| | |
|---|---|
| 基金の名称 | 肥育安定基金 |
| 法人名 | 一般社団法人長崎県畜産協会 |
| 基金額（機構補助金等相当額） | 1,682百万円（1,262百万円） （基金額については、平成26年4月から平成27年3月の間に納付された生産者積立金及びこれに対する補助金により基金造成を行った額。） |
| 基金事業の概要及び目標 | 肉用牛肥育経営の粗収益が生産コストを下回った場合に、差額の8割を補填金として交付するために、肥育安定基金を造成し、肉用牛肥育経営の安定を図る。 |
| 基金事業を終了する時期 | 未定（平成28年3月に肉用牛肥育経営安定特別対象事業第2業務対象年間終了後、無事戻しを行い、新たな業務対象年間を開始予定。） |
| 給付対象となる事務又は事業の採択に当たっての申請方法、申請期限、審査基準、審査体制 | 肉用牛肥育経営安定特別対策事業実施要綱及び業務方法書に基づき申請を受け、審査等を行う。 |